



## 『ワクワクフライデー』

横浜国立大学と箱根町の包括連携協定に基づく取組みとして、令和6年6月14日(金)に、箱根の森小学校において、6年生を対象に、大学生が作成した教材を用いて算数を学ぶ「ワクワクフライデー」を実施しました。教育学部の学生が教育現場に触れる機会を設けることで、将来の教員育成に結びつけること、小学生が楽しみながら学習することを目的として平成30年度から実施しています。

### 学習意欲の向上

興味のあることや得意分野の知識・技能のスキルアップを目指す。

### 学ぶ機会の創出

子どもや若者に向けた職業体験・見学、専門的体験プログラム等を行う。

### SDGs の連携を図る

同業種、異業種の企業間だけでなく大学やNPO法人などと連携を強め、SDGsの実現を図る。



大学生たちは、それぞれが作成した教材について、数字を使ったマジックとして紹介し、どのマジックの仕組みを知りたいか、興味を持ったマジシャンのところに来てね、とプレゼンしました。

グループに分かれて、絵を描いたり電卓やトランプを使ったりしながら、数字のマジックの仕組みについて考えました。

算数が苦手な児童も、数字の不思議について、楽しみながら考えることができたようです。

